県労連 あおもり

2018年８月５日　第 335 号
発行所　青森県労働組合総連合（青森県労連）
〒 030-0852 青森市大野若宮 165-19　Tel 017-762-6234
発行人　青森県労働組合総連合（毎月５日発行）定価 10 円
1992 年 10 月 30 日　第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

最賃一〇〇〇円へ！二六二分の座りこみ

県労連は7月12日、青森駅前公園で最低賃金1000円以上への引き上げを求めて262分間の座り込み行動を41名の参加のもと実施しました。座り込み行動は、07年から実施。座り込む開始以前は、1円・2円などの超低額の引き上げにとどまっていましたが、07年以降はほぼ2桁の引き上げとなっています。

奥村議長は、政労使合意の「2020年までに最低800円の引き上げ」を実現するためには87円程度の引き上げが必要、最賃の大幅引き上げは、青森県にとって少子高齢化、人口減少に歯止めをかけ、地域経済の再生と景気回復にとって待ったなしの課題だと強調しました。

最賃引き上げの署名の訴えと「最賃シール投票」（23人投票）も実施しました。「あなたの時給はいくらですか」の問いに、750円以下が4人、750円以上が16人。「最賃をいくらにしてほしいですか」の問いに、1000円以上が8人、1500円以上が12人と答え、大幅引き上げを望んでいることが明らかになりました。

25日、中央最賃審議会は青森県23円の引き上げの目安を決定しました。

最低賃金1000円の公約守れ！結婚し育児が出来る賃金を！
青森駅前262分座り込み行動

のべ41名の座り込み

いのちのとりで裁判勝利を

7月8日、いのちのとりで裁判あおもりアクションの第2回総会が青森市文化会館で開催され、県内各地から74名が参加しました。

総会に先立ち、記念講演が行われ、立正大学客員教授・税理士の浦野広明氏が「社会保障財源38兆円を生む税制」と題して話しました。

歴代自民党政権は、大企業と高額所得者優遇の税制を推進してきたと告発。消費税を導入する一方、高額所得者のため所得税・住民税の負担を93%から55%への引き下げ、法人税を43・3%から23・2%へ引き下げたことを批判。法人税の租税特別措置法の廃止などで13兆円、所得税の税率見直しなどで11兆円、地方税の見直しで10兆円等で38兆円を捻出できると主張しました。

来年10月の消費税10%引き上げを阻止するために、市民と野党の共闘で参院選挙と一斉地方選挙で勝利しよう訴えました。

いのちのとりで裁判あおもりアクショ
～心の通い合う仲間づくりと、人間の心の深くに訴
2018.7.8 リンクステーシ

講演する浦野氏

県社保協第22回総会

青森県社会保障推進協議会(県社保協)は7月28日、青森市・アスパムで第22回定期総会を開催、県内各地から81名が参加しました。

長久啓太氏（岡山県労働者学習協会事務局長）が、「憲法25条を活かすとはどういうことか」と題して記念講演をしました。長久氏は、「社会保障は生活保障。その財源は所得の再配分で」と強調しました。また同郷の朝日茂さんの著書「人間裁判」から、〝生活と権利を守ることは、口先だけでいくらいっても守れるものではないのだ。闘うよりほかに、私たちの生きる道はないのだ〟を紹介、人権感覚をみがこうと訴えました。

総会は、木村事務局長が1年間の活動と18年度の方針案、決算・予算案を提案しました。5つの参加団体から活動の報告が行われました。

県労連から今正則副議長が、最賃引き上げの取り組みを報告しました。最賃引き上げの座り込み行動や少子高齢化、人口減少問題を解消するためにも最賃引き上げの重要性を強調しました。

青森県社会保障推進協議
第22回定期総会

総会に81名参加

ヒバクシャ署名県民集会

6月30日、青森市文化会館でヒバクシャ国際署名をすすめる青森県民集会が開催され、県内各地から161名が参加しました。

日本原水爆被害者団体協議会（被団協）の和田征子事務局長が、「草の根の運動が歴史を動かした～核兵器禁止条約採択後、そしてこれから～」と題して講演。和田さんは、長崎で被爆、被団協の一員として交渉会議に参加、核兵器禁止条約の採択の感動を伝えました。和田さんは「核兵器を作ったのは人間です。そして使ったのも人間です。そうであれば、なくす事が出来るのも人間です」と結びました。

各団体からの報告。①青森市原水爆禁止の会の石田さんは、戸別訪問を実施、ヒバクシャ署名を500筆達成②コープあおもりの加藤さんは、職員・組合員とともに店舗や地域で3万5千筆を達成③八戸原水爆禁止の会の中屋敷さんは、市職員の7割の1500名が署名、朝市署名で443筆を集約④原水爆禁止県民会議の高沢さんは、野辺地町で原爆展を開催、60筆集約⑤県原爆被害者の会副会長の田中さんは、県内の被爆者は高齢になっており、ヒバクシャ署名の20万筆の達成を訴えました。

ヒバクシャ国際署名をすすめる　青森県民集会
核兵器の廃絶を

県民集会に160人

第30回県労連定期大会

とき　8月25日㈯10時
ところ　青森市・アピオ
議案　①18年運動方針案
②決算・予算案
③役員選出

議案書は事前に配布しますので当日持参してください。

当日は、全労連共催青森支部の決算・予算の承認があります。

生命・医療・火災・自動車・・・
ZENROREN　全労連共済
労働組合の大切な柱
労働組合の助け合い共済。
民間保険と違い、営利目的ではない。
だから、「小さな掛金」で「大きな保障」が実現。
問い合わせは県労連に　☎ 017-762-6234

7月22日通常国会が閉幕した。「森友」「加計」問題での隠ぺい、改ざん、ねつ造疑惑はそのままに、働き方改悪法、参議院定数増は国会を延長してまで強行採決した。国民の声を無視して数の力で押し切る国会運営は、「国民とのコンセンサスは必要ない」という独裁政治そのものである。このような異常な国会運営でも「安倍内閣はなぜ倒れないのか」という声が上がっている。野党は次の3点を挙げている。①次々と目先を変えて自分たちの悪事を忘れさせる②数の力で強権をふるって国民を諦めさせる③国民の中に分断を持ち込むことである。これらを踏まえるなら私たちは、①悪事を忘れず②諦めない③立場の違いを超えて一致する要求で個人・団体と連帯した闘いが重要である。

会期中の改憲発議も視野に入れていた「安倍9条改憲」は、国民世論で阻止したことに確信を持たなくてはならない。どの世論調査でも数を力とした国会運営に国民は反対している。独裁政治を望んでいないことを示すために、秋の臨時国会までには「安倍9条改憲NO!3000万人署名」をやりきって、改憲勢力の野望を完全に葬りさらなくてはならない。（柳谷）

原発・核燃いらない！大間集会に三三〇名

　7月15日、第11回大間原発反対現地集会が開催され、全国各地や県内から330名が参加しました。鹿児島県の井上さんは、川内原発再稼働反対を、若狭湾に原発が集中している福井県の中嶌さんは、大飯原発差し止め訴訟を、北海道の藤井・マシオンさんは、泊原発再稼働反対を、函館市の竹田さんは、大間原発建設差し止め訴訟の取組みについてそれぞれ報告しました。竹田さんは、大間原発建設の是非の判断を忌避した判決を批判、「決してあきらめない」と決意を述べました。

　奥村議長をはじめ15名の発言を受けた後、「大間原発建設反対、六ヶ所再処理工場・モックス加工工場反対」などを内容とする集会アピールを採択しました。

　町内を1時間余にわたってデモ行進、これまで見られなかった手を振ったり、声をあげて歓迎する町民が多くいました。大間原発建設とマグロの漁獲枠の設定に対する不安の表れと思われます。

大間原発建設
憲法ネッ
原発反対
地集会
社民党

町民の反応が大きかったデモ

県平和委員会総会開催

　県平和委員会は7月22日、18年総会を開催、県内5平和委員会と会員19名が参加しました。

　上十三平和委員会から小川原湖への燃料タンク投棄への抗議とオスプレイ飛行禁止の取組み、弘前平和委員会から戸別訪問による3000万人署名運動、八戸平和委員会から三沢基地問題のガイドの養成、むつ平和委員会から3000万人署名の取組みが報告されました。

　7月1日、長らく開店休業中だった青森市平和委員会の再建総会が開催され、24名が参加、30代役員を含む新役員を選出しました。総会では新しく4人の会員拡大、その後2人の会員を迎えています。

　当日、日本平和委員会の千坂純事務局長は、「日米安保と戦争法、いま日米同盟の深化は―全国の基地に反対するたたかいと青森県の課題」と題して記念講演をしました。千坂さんは、CV22オスプレイの超低空飛行と闇夜での訓練などの危険性を指摘しました。

青森市平和委員会
再建大会
戦争法違憲
まもろう平和憲法
PEACE
三沢米軍基地撤去
米軍基地なくそう
日本防衛と無関係！ 青森県平和委員会

青森市平和委再建総会

オスプレイ三沢飛来！

　7月17日、横田基地に配備されている米軍のCV22オスプレイ2機が突然三沢基地に飛来しました。CV22は夜間超低空飛行で敵地に侵入、強襲、拉致など無法な特殊作戦を行う部隊を輸送する任務をもつもので、CV22オスプレイよりも危険だといわれています。

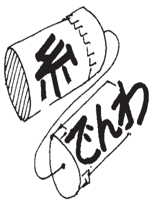
　7月24日、県平和委員会と上十三平和委員会は、東北防衛局三沢事務所を訪問、米軍と防衛省に抗議の申し入れをしました。三沢事務所は、当日昼前に防衛局から飛来の連絡があり、県や三沢市、近隣自治体に連絡したと回答しましたが、県民・住民には何も広報されていません。

　許されないのは、県民・地域住民の不安を無視するかのように、申し入れをした日の夕方CV22オスプレイ2機が三沢基地に飛来したことです。日本の航空法を無視した超低空飛行を止めさせ、日米地位協定を改定すべきです。

米空軍オスプレイは来るな！！
青森県平和委員会・上十三平和委員会

三沢市の抗議行動

〈ろうきん〉のカードなら
いいこと あ～る ね！
ＡＴＭお引き出し手数料
全額即時キャッシュバック！
実質０円
©ROKIN
東北労働金庫青森県本部　青森市本町３丁目3-11　☎017(777)6165



来年小学生になる孫に懐かれ、たかられ、私の小遣いは可愛い孫に貢ぐ毎日です。目に入れても痛くないほど…可愛いのかな？（小野透・青森保健）

いつもの待合室㊩「新町むったど何かの署名やってるっきゃ！」「これが！」と3000万署名用紙を見せたら「これ、書いだ」この日、署名とドンファンの事で話しが弾みました。（細川弘彦・年金者組合）

最近マージャンを覚えました。年寄りにはいいゲームです。なかなかつきが廻ってきません。（千葉美千代・年金者組合）

日本は先進国を名乗り、司法、立法、行政の三権分立が確立されているという幻想を国民に与え、国民もまたそれを思考停止して受け入れてきた。しかし大間原発建設差し止めも大飯原発3・4号機の運転差し止め訴訟もアベの意向を受け、アベを忖度した裁判官によって住民側が敗訴した。この国に正義も、モラルも常識も存在しなくなった。それはアベが2012年12月に第2次政権についてからだ。（長内一・建交労）

台風の進路の速度が遅くなっているとの記事を見ました。速度が遅くなるとその分だけ台風が長く居座るそうです。（岡本猛・年金者組合）

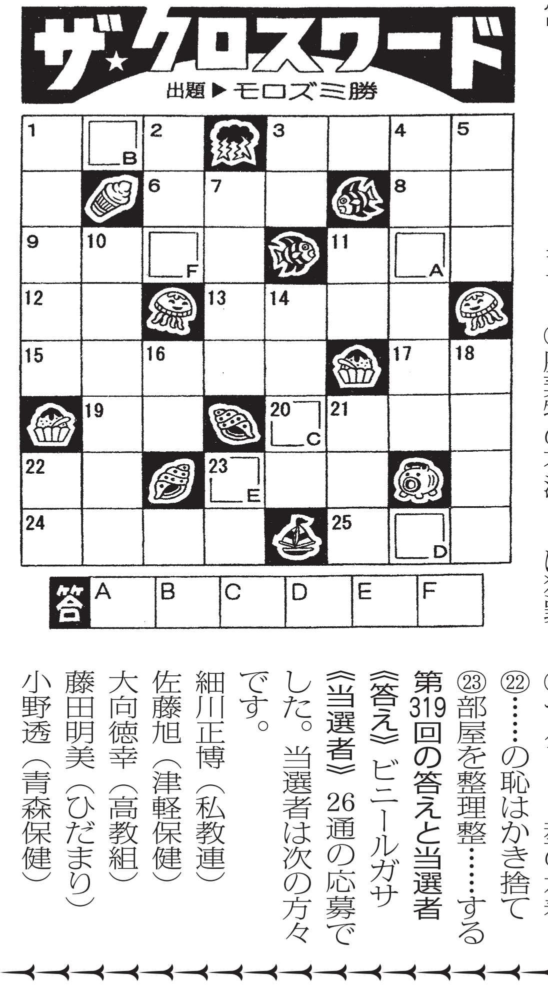
毎朝、登園前に私の母の育てる畑へ行き、苺を積んでいる三歳の息子。ミニトマトが実る頃には、ボールいっぱいのトマトが玄関に置いてあることでしょう。（玉熊律郎・民医労）

とうとうツユ入りしました。青森はまだ咲いていませんが、ツユと言えばアジサイです。（中村龍平・建交労）

第333回クロスワードパズル

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いて下さい。余白に職場の様子や最近の出来事などを、ぜひお寄せ下さい。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。

●締切＝9月15日
●発表＝10月号
●宛先＝〒030―0852青森市大野字若宮165―19。FAX、メールは欄外に表記。「第333回クロスワードパズル」係まで。



【ヨコのカギ】

①キュウリの……巻き
③8月の祝日
⑥そのもの……。策が……当たる
⑧2人。……ショット
⑨「スチール」とも
⑪英語などのつづり
⑫恥知らず。厚顔……
⑬目尻の反対語は？
⑮官庁や学校で働く人。
⑰乱……。……飲……食
⑲スイカは……科
⑳空中を飛ぶ魚
㉒……とホコ
㉓廃棄物の不法……は犯罪
㉔ドン感ではありません
㉕ダシ汁に使う小魚

【タテのカギ】

①夏のデパートにもいる
②ジグソーやクロスワードは？
③雨が降っても……が降っても必ず行く
④顔に目・鼻・口がない化け物
⑤靴のかかと。ハイ……
⑦慈善事業の趣旨も知らず多額寄付
⑩得意の絶頂
⑪サラが回る店もある
⑭岩の上。……に立つ
⑯イガに包まれています
⑱魚市場とも言います
㉑セパレート型の水着
㉒……の恥はかき捨て
㉓部屋を整理整……する

第319回の答えと当選者

《答え》ビニールガサ

《当選者》26通の応募でした。当選者は次の方々です。

細川正博（私教連）
佐藤旭（津軽保健）
大向徳幸（高教組）
藤田明美（ひだまり）
小野透（青森保健）